

福志式

～介護実習Ⅱに向けて 私たちの決意～

10月3日（木）に、本校東雲ホールにて、県教育委員会からのご来賓、実習施設の方々、保護者の方々が同席される中、福志式が行われました。福志式は、福祉を志す者としての自覚の再確認と、10月から始まる介護実習Ⅱに向けての決意を新たにすることを目的に行われる式です。厳粛な雰囲気の中、福祉科2年生30名が、学年カラーの水色のエプロンを校長先生から一人ひとりかけていただきました。

すべての実習を終えた3年生からは「皆さんの周りには、クラスの仲間、先輩、家族や先生方、施設の職員の方など、相談できる人がたくさんいる。周囲の人に支えられていることに感謝し、自分自身やこれから出会う利用者の方に一生懸命に向き合ってほしい。」と2年生へ励ましの言葉がありました。



2年生の代表の生徒は「利用者の方の情報などを収集し、より深いコミュニケーションを行ったり、安全で安楽な介助を学んだりしたい。丁寧に教えてくださる先生方や施設の方に成長した姿を見ていただけるよう日々努力したい。」と介護実習Ⅱに向けての誓いの言葉を述べました。

福志式を終えて、2年生からは「式での返事、姿勢から、一人ひとりが実習に向けての意気込みを態度で表すことができた」「たくさんの方々に支えられて今の自分があるのだと改めて実感した」という声がありました。福祉科は、実習施設の方々をはじめ、地域の多くの方々から支えられています。そのことに感謝し、介護に関する学びをさらに深めていきたいと思えます。

